



佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校
令和8年度学校だより
No.8 10月号
令和8年10月1日(木)



々々照今よりよき今をともに創らん

ある日の 図書室の風景から

夏休みが明けて数日は、ぐずついた天気が続きました。湿度の高い日も連日でした。そんな9月4日の図書室の様子です。写真では、疎ら（まばら）にも見えますが、30名以上の生徒の利用がありました。教室から近いせいもあってか、この日も1年生が大多数でしたが、2年生、3年生も含めての来室がありました。

本校では、開室をしているのは、主に毎週月・金の二日間です。この日は金曜日で、専門の司書教諭がいらっしゃいました。毎月2度の来校ですが、そのうちの1日でした。学校図書担当の先生もいます。さらには、この日担当の図書委員も、当番を意識して仕事に取り組んでいました。どこにいるか分かりますか。

本を借りに来た生徒の中には、両手に合わせて四冊の本をもっている人もいました。また、階段を駆け上がってきて、お目当ての本を見つけ出した生徒もいます。その生徒は「図書室は何曜日に開いていますか。」と確認をしていました。様子を見てみると読書が好きで、借りるのも初めてではなさそうですが、夏休み明けということもあって、薄れた記憶を確かなものにしようと尋ねているようにも見えました。今年度も続々と新しい本が入荷しています。また、どの本がそれに当たるのかすぐに分かるように表示もされています。本校では、昨年度四月当初より、朝読書の時間として約十分間の時間を設けてい



ます。読書の習慣が身につく、本を読むことの楽しさに気づく生徒が一人でも増えると思っています。

それでは⑦に目を留めてください。これは、いったい何でしょうか。「備品」と書かれていますが、実はイスです。図書担当の先生から話がありました。あまりにも古く、イスの下からホコリが出るようです。かなり年季の入ったものなのでしょう。その証拠があります。同じ写真にあるを見てください。何か分かりますか。バナナのようでもあり、ユリの花の紋章のようでもあります。正解は、ひたちなか市の前身、旧勝田市の市章です。拡大したものが⑧です。このマーク全体で、勝田の「田」を表していたそうです。真ん中の物体はトウモロコシでもなく、「カツタ」の「ツ」を象ったものです。驚きました。それでは「カ」は。答えの難易度は少し高くなります。

ひたちなか市へと合併改称したのが1994年のことですから、その時から数えても優に30年以上の歳月が流れました。C棟ができてからの時の経過を考えると、50年の時をはるかに超えて、イスは、多くの佐野中生の体重を支えてきたことが想像できます。確かに、そろそろお疲れ様と言ってあげてもよいのかもしれませんが。まだ使える、いや、もう寿命、果たして、はたして…、というところでしょうか。他のもの、ことも含めて、学校教育への予算をもう少しつけていただきたいと思った次第です。



智仁武勇



生活の柱：時空人の「間」を照らす - 時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時空人の間を燦々と照らして よりよき今をともに創らん

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果から

今年度中学3年生を対象に実施した上記テストの結果を、抜粋してお伝えします。

教科	平均正答率(%)・IRTスコア		
	全国	茨城	本校
国語	63.9	65	全国を上回っている 茨城県を上回っている
数学	57.0	57	全国を大きく上回っている 茨城県を大きく上回っている
英語	*499	*494	全国をやや上回っている 茨城県を上回っている

* 英語の数値は、昨年度の理科同様に、平均正答率ではなく、IRTスコアというものです。続いて、生徒質問紙の結果です。

次の質問項目については、全国・茨城県と比べて、ともに本校が大きく上回っていたものです。今年度は上位3項目にしばって紹介します。

なお、選択肢はどの設問も四つで、「当てはまる」と答えた生徒の割合を表示しています。(%)

質問内容	全国	茨城
① 数学の勉強は好きですか。	29.8	30.3
② 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか。	22.6	22.7
③ 授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか。	29.3	36.4

①については、県・全国の両方から圧倒的な差をつけて本校が上回っています。本校の特色・強みとして最も突出している項目です。

一方で、次の質問項目については、全国・茨城県と比べて、ともに本校は下回っていました。

質問内容	全国	茨城
① 授業や学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか。	17.5	16.2
② 家には、およそどれくらいの本がありますか。(雑誌・教科書除く)	16.2	19.3
③ 家庭学習の宿題として、どの程度ICT機器を使って英語の音声を聞いたり話したりする練習をしていますか。	5.5	4.7

こちらは②について述べますが、「家に本が多くある(選択肢1:あてはまる)」と答えた生徒の割合が低く、読書習慣や家庭内の読書環境に関する項目でやや下回る傾向が見られました。

生徒質問紙の結果から分かった全体的な本校の教育成果・長所としては、

- ① アウトプット型・対話型の授業スタイルが定着
- ② 手段(道具)としてICT活用が浸透
- ③ 主体的な集団作りができていて人間関係に肯定感あり
- ④ 主体的・粘り強い学習態度-特に課題解決プロセスを楽しむ意欲が高い

でした。ここに分析を紹介しました。

中1の理科では気体を集める「水上置換法」の実験に取り組んでいます。水中で試験管を操作する慣れない作業に最初は苦戦していましたが、班の仲間と声を掛け合い、協力して熱心に挑む姿が見られました。試験管に気体が徐々に集まり、実験が成功した瞬間には、教室内が大きな驚きと歓声に包まれました。



10月には中学校に入ってから初めての通知表が返却されます。新学年がスタートをしてからこれまでの約半年間、学校生活や学習にどのように取り組み、成果を上げてきたかをまとめたものです。結果の数字だけに一喜一憂するのではなく、「何が得意で、どこに課題があるのか」を客観的に振り返って、後期に繋げてほしいです。

前期も終わりに近づき、勉強に対しての意識がより一層向上してきています。写真は、ある日の自習の様子です。自分で学習する内容や時間を考え、一人ひとりが黙々と集中して課題に取り組んでいます。積み重ねを大切にしながら、最大限まで自分の力を伸ばしてほしいです。これからも互いに励まし



合いながら成長していくことを楽しみにしています。

新人戦壮行会を行いました。これから始まる新人戦



に向けて、各部の選手が意気込みを発表しました。2年生が中心となってチームを引っ張り、1年生とともに日々の練習の成果を発揮します。仲間への感謝を胸に、最後まで諦めず全力で戦ってきてほしいと思います。学校全体で応援しています！